The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	SNS上の誹謗中傷投稿への同調に関する分析 : ナッジメッセージによる誹謗中傷抑制の試み
Author(s)	村田, 拡介; 秋田, 航汰; 小野, 祐紀 他
Citation	大阪大学経済学. 2024, 73(4), p. 55-55
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/94751
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

【2023年度　学生懸賞論文受賞作　特別賞要旨】

SNS 上の誹謗中傷投稿への同調に関する分析
～ナッジメッセージによる誹謗中傷抑制の試み～

村田拡介　秋田航汰　小野祐紀　河合求真　森実輝

SNS 上の誹謗中傷は深刻な社会問題であり，法律や情報技術などの分野で対策が取られている。しかし，いずれも費用や権利の側面からの制約が存在し，必ずしも対策が万全であるとは言えない。その点において，ナッジは金銭的負担を用いず，選択の自由も確保できるため，誹謗中傷の対策として有用である。そこで，本研究では SNS 上の誹謗中傷への同調を抑制するナッジメッセージの効果検証を行った。損失回避，利他性，社会規範の３つのナッジメッセージ，２種類の架空の SNS 投稿，及びそれら投稿に対する返信を作成し，オンラインアンケートでの RCT を実施して検証した。その結果，損失回避メッセージと利他性メッセージは誹謗中傷的返信への同調を有意に抑制したことが明らかとなった。ただし，これらメッセージは誹謗中傷にあたらない単なる意見の対立をも抑制している可能性があるほか，抑制効果は投稿内容により変動することが示唆された。また，有意な効果が見られなかった社会規範メッセージは，多くの回答者にとって社会規範を意識されるのに十分な情報ではなかった可能性や，抽象的な表現のために効果が表れなかった可能性が考えられる。